

方向器

24年11月29日
通算1091号

全日本建設交運一般労働組合
神田支部

〒101-0061千代田区神田三崎町3-2-4
電話 03-6674-2129
ファックス 03-6674-2986
メール kumiai@kanda-web.co.jp



分散会報告をする上村委員長（上）



分散会の様子（下）

11月23・24日の2日間で建交労2025年中央春闘討論集会が伊豆長岡・サンパレー富士見で各県本部、支部から全体で86名の参加で行われました。当日は全国の仲間が静岡に来る事になったが、高速道路は大渋滞、新幹線は車両故障により遅延で1時間遅れでの開会となりました。開会の挨拶に始まり、足立委員長からの挨拶と続き廣瀬書記長の2025年春闘方針の提案、その後、全労連・黒澤事務局長の「25国民春闘をどうたたかうのか」の題目で講演をいただきました。その後は分散・分科会討論に入り、（春闘の班に分かれ、春闘への向けた各自の受け止め及び職場状況など）で討論が行われ、私の方からは、神田支部の春闘要求決定までの流れと、25春闘の内容について発言しました。2日目は前日の分散会の各班からの報告が始まり、上村委員長が班の代表で発言しました。全体討論では9名の方から、各支部の春闘の取り組み、各県本部の生計費調査の結果などが話されました。まとめでは、廣瀬書記長からのまとめがあり、



最後に閉会の挨拶、団結がんばろうで閉会となりました。
【武田常任】

中央25春闘討論集会開催
大幅賃上げへ！



神田支部の報告する前山常任（上）



参加した全員集合写真（下）

11月24日の中央春闘討論集会開催後、同会場にて建交労全国トラック部会第26回総会を開催。全国から42名の仲間が集まり、神田支部からは上村委員長・武田常任・前山常任が出席しました。総会は緒方事務局次長の開会挨拶で始まり、議長に松澤副部長が選出、足立部長の代表挨拶では、「昨年度は4月に参議院国土交通委員会に参考人として出席するなど、トラック部会として業界の改善に前進出来た。10月に全ト協主催で行われた事業者の大会では、30年前に行われた規制緩和は失敗だったと言った発言があった。また規制緩和に当初から異を唱え続けていたのは建交労だけで、ここ数年でやっと過去の過ちが証明されてきている。今後は、大事なことは仕事に対してどう向き合うか、何のために仕事をしているのか考えること。今の若い方は自分の価値を賃金単価で図るが、自分の価値が正當に評価される業界にするため今後とも奮闘しよう」と参加者へ呼びかけました。次に議案提案に移り、鈴木事務局長より2024年度の活動のまとめ、2025年度方針案の提案、続いて上村

全国トラック部会
第26回総会参加

副部長より会計・監査報告と予算案の提案がありました。昼食を挟んで討論に移り、全体で20名が発言し活発な議論が行われ、神田支部からは前山常任より1年間の神田支部の活動報告と25春闘に向けて、「あるべき賃金・労働条件」（神田支部版）の実現に向けてと今後の組織強化・拡大について発言し討論に参加しました。休憩を挟み、鈴木事務局長より討論のまとめとして答弁がありました。総会は2025年度役員体制提案を含む全議案と筒井幹事からの総会宣言案が一括で採択され、閉会挨拶と足立部長の団結ガンパローで総会は終了しました。【前山常任】

手から手へ仲間といっしょに読もう